



全日本選手権大会に向けて期待が高まる中島優羅さん（右から2人目）

10/17 中島優羅さんがウェイクボード全国大会に出場！

中島優羅さん（古城区・腹栄中2年）が町役場を訪れ、8月25日から27日にかけて行われた「ウェイクシリーズ第3戦 筑後川大会」のAMA LEAGUE WAKE MENの部において2位に入賞し、11月2日から5日にかけて大分県中津市耶馬溪アクアパークで行われる「ウェイクボード・ウェイクサーフィン全日本選手権大会」に出場することを報告しました。

中島さんは、父の元康さんと主に天草を拠点にし、毎週末通いながら日々猛練習に励んでいます。

報告を受けた中逸町長は「全日本選手権でも表彰台を目指してベストコンディションで臨んでください」と力強いエールを送りました。



薬物乱用防止に関するチラシが配布されました

10/6 ダメ。ゼットイ。 長洲有明ライオンズクラブが薬物乱用防止キャンペーンを実施

長洲有明ライオンズクラブ（浦邊朝章会長）は、長洲中学校および腹栄中学校で薬物乱用防止キャンペーンを実施しました。

これは、近年、青少年によるシンナー乱用が後を絶たず、大麻およびMDMAなどの薬物乱用拡大が懸念されることから、熊本県下の中学生を対象に行われている運動で、青少年の薬物乱用を未然に防ぎ、健全育成や、薬物乱用を許さない地域づくりを行うことを目的として実施されたものです。

当日は、登校中の中学生へチラシの配布を行うことにより、薬物乱用の有害性・危険性を訴え、薬物乱用防止についての呼びかけが行われました。



剪定した枝・葉を集める参加者たち

10/1 町の玄関をきれいに… 駅前美化作業をしました ～青少年育成町民会議～

町青少年育成町民会議（中尾政光会長）は、長洲駅前の美化作業を行いました。

これは、町民会議が環境美化作業の一環として、毎月第1日曜日に行っているもので、町の玄関口でもある長洲駅の除草作業や清掃をしています。

この日は会員をはじめ、中学生、高校生、大学生も参加し、世代間の交流を深めながら、駅を訪れる人が気持ちよく利用できるように美化作業に汗を流しました。



4人のALTと子どもたち

9/24 子どもたちに生の英会話を
長洲町国際交友友の会がイングリッシュキャンプを開催

長洲町国際交友友の会（徳田美津子会長）は、町中央公民館でイングリッシュキャンプを開催しました。これは、子どもの英語に対する関心向上および親睦・融和を図ることを目的として開催されたものです。

当日は、約18人の町内の小学生および中学生が長洲町と荒尾市の4人のALTとともに絵本の読み聞かせ、クイズ、ピンポン玉を使った玉入れゲームなど様々なレクリエーションを「生の英会話」を通して、楽しむ様子が見られました。

子どもたちからは、「外国人の方と英語で話せてうれしかったです」といった声が聞かれました。



ボクシングの動きに合わせた動きで汗を流す参加者たち

9/17 ボクシングの動きを取り入れ音楽に合わせて楽しく身体を動かす
バーチャルボクシング®体験会開催！

「バーチャルボクシング®体験会」が総合スポーツセンター体育館で開催されました。

この体験会は、健康、体力向上に対する関心のきっかけ作りの場の創出を目的としたもので、子どもから高齢者までを対象に、長洲町総合スポーツセンターの指定管理者長洲町SSC共同事業体の代表企業である(株)サンアメニティの主催で開催されたものです。

当日は、WBA元世界チャンピオンをはじめとする講師が指導を行い、約120人が参加し汗を流しました。



試食する参加者



舌平目（クッコ）

10/3 石井食品（株）との包括連携協定による試食会を開催

町は、石井食品株式会社との包括連携協定による『長洲町産舌平目のまるごと煮』の商品発売に向けた試食会を開催しました。

この日は、町と石井食品株式会社、長洲町旅館飲食店組合、熊本北部漁業協同組合が参加し、高温調理加工で旨味を閉じ込めた舌平目（クッコ）を味わいました。

今後は、ふるさと納税の返礼品などとして販売を進めていきます。



感謝状を手にする木下さん（前列中央）と熊本北部漁業協同組合の組合員の皆さん

10/20 長年の功績を称え
海岸清掃活動で木下英夫さんに感謝状を贈呈

熊本北部漁業協同組合（上田浩次代表理事組合長）は、木下英夫さん（西新町区）に感謝状を贈呈しました。

これは、木下さんが長年にわたり町内で海岸清掃活動を行ってきた功績をたたえ、贈呈されたものです。

木下さんは「雨の日以外はほとんど清掃を行ってきました。地元の方のご協力があったからこそだと思っております」と話しました。



環境ポスター表彰式の様子

10/1 クリーンパークファイブ環境フェスタを開催

クリーンパークファイブ（長洲町名石浜）で、クリーンパークファイブ環境フェスタが開催され、約1,500人が参加しました。

これは、住民の方にゴミの減量化・資源化について関心を深めてもらうことや、リサイクル活動の推進を目的としたイベントです。

当日は、クリーンパークファイブ管内の小学生環境ポスター表彰や、住民の方からクリーンパークファイブに提供された家具などのリサイクル品抽選会が行われ、計59点が新たな持ち主に引き取られました。

他にもフリーマーケットやソーラーカー工作教室などが行われ、参加者たちがリサイクルやSDGsなど環境への関心を深める様子が見られました。



玉入れ競争で盛り上がる区民たち

区民の親睦のために
9/24 古城区がレクリエーション大会を開催

古城区（福島正照区長）は、古城公園グラウンドでレクリエーション大会を開催しました。これは、区民同士の親睦を図るなどを目的として開催されたもので、4年ぶりの開催となりました。

当日は、玉入れ合戦、綱引き、輪投げやパン食い競争など10種目の競技が行われ、会場は大いに盛り上がりました。

福島区長は、「高齢化が進む中、近所の方と絆を深めることが開催の目的の1つだと考えています。何か困ったことなどがあつたときに、お互いに助け合うことが必要だと思えます。チーム分けも、近所の方同士が同じチームになるように工夫しています」と話しました。



「子ども楽」の様子

4年ぶりに子ども楽の奉納も
9/25 腹赤天満宮と清源寺天満宮で秋の例大祭

腹赤天満宮と清源寺天満宮で、秋の例大祭が行われました。これは、五穀豊穡、無病息災や家内安全などを願い行われるもので、江戸時代から伝わる伝統行事です。

腹赤天満宮では、夏休みから週3回の練習を重ねた小学5、6年の10人が「ソーライ」のかけ声とともに「子ども楽」を披露し、4年ぶりの奉納が行われました。

清源寺天満宮では、総合的学習の一環で腹赤小3年の約30人が参列し、清源寺神楽を間近で見学し、神事の意味や伝統について学ぶ様子が見られました。



協議会の様子

4年ぶりに対面で！
9/29 「水産振興及び干潟再生協議会」を開催

本町や熊本県沿岸地域に面した14自治体と、長崎県島原市、長崎県雲仙市、大分県宇佐市等の20団体で構成する「水産振興及び干潟再生協議会」が、町役場で開催されました。

この日は、町・熊本北部漁業協同組合・大学との産官学連携で取り組んでいる調査・研究の報告や現地視察が行われ、参加者の間で活発な意見交換が交わされました。